

平成 30 年度コミュニティ助成事業（予定）について

●コミュニティ助成事業とは？

コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行い、コミュニティの健全な発展を図ると共に宝くじの普及広報事業を行うものです。

●助成事業実施までの流れは？

平成 30 年度に行う事業について、平成 29 年度中に募集があり、審査が行われます。
(審査のスケジュールは変更となる場合があります。)

- ① 平成 30 年度の自治会などの活動について検討します。
- ② 【8 月末頃まで】検討された活動の中で、対象となる事業があり、助成を希望される場合、下記担当へご相談いただき、申請書類などを準備します。
※申請にあたっては、事前に自治会内でよく話し合ってください。
- ③ 【9 月頃】町、県を通して(財)自治総合センターに申請書を提出
- ④ 【平成 30 年 3 月】(財)自治総合センターによる事業の採択・不採択の決定
- ⑤ 【平成 30 年度 交付決定後～翌年 3 月】採択された事業について事業実施

●申請にあたっての注意事項

- ・提出された申請は、(財)自治総合センターが審査し、予算の枠内で採択されるため、申請が全て採択されるとは限りません。(平成 28 年度は 11 団体が申請し、2 団体が採択)
- ・申請にあたっては、事業実施後の施設・設備の管理方法を含め、事前に自治会内でよく話し合ってください。
- ・基本的には精算払いとなります。(※概算払いについては、個別にご相談ください。)事業の実績報告時にはすべての支払いを終了してください。
*その後、町から自治会へ補助金が支払われます。
- ・今回お知らせしている内容は、平成 29 年度事業実施要綱に基づいています。平成 30 年度事業については、例年 8 月から 9 月にかけて実施要綱が示されるため、今回お知らせしている内容と変わることがあります。

●平成 28 年度実施事業の紹介（一般コミュニティ助成事業）

宝くじ助成で施設整備

北条島・比山・六尾

宝くじの収益金をもとに実施されるコミュニティ助成事業の助成を受け、備品などが整備されました。

六尾自治会では、すべり台やブランコを農村公園に設置し、子どもが安全で楽しく遊べる環境を整備しました。



比山自治会では、集会所の証明を LED に変更したほか、エアコンや卓球台を整備し、地域の誰もが集える環境を整備しました。

北条島自治会は発電機やチェーンソーなどを整備し、荒れて入れなくなった裏山の道を自治会で復旧し維持管理を行います。

広報北栄 平成 29 年 2 月号掲載

【担当】

企画財政課政策企画室 藤友

電話 0858-37-5864 (直通)

ファクシミリ 0858-37-5339 (代表)

E-mail kikaku@e-hokuei.net

●対象となる事業の概要

事業の種類	対象経費	助成額 (1件あたり10万単位)
一般コミュニティ 助成事業	コミュニティ組織（自治会など）の活動に直接必要な施設や設備の整備に関する経費 【施設・設備の例】 除雪機、スポーツ用品、エアコン、御輿、テント、組立式ステージ、視聴覚機器(パソコン、テレビ)、調理用機器、イス・テーブル、遊具、倉庫など	100万円～250万円
コミュニティセンター 助成事業	コミュニティ活動を推進するための多目的な総合施設（コミュニティセンター、自治会集会所等）の建設整備 ●主に新築が対象（大規模修繕については、建物の主要構造部について行う大規模な修繕が対象） ●抵当権等の権利関係が付着していないこと ●登記名義人が単独の認可地縁団体「保存登記済」となっていること 【対象外経費】土地の取得及び造成、既存の施設または設備等の修理、修繕、撤去及び解体処理、外構工事に要する経費。	対象経費の5分の3以内に相当する額 (上限1,500万円)
自主防災組織育成 助成事業 担当は総務課 (情報防災室)です。	自主防災組織、女性防火クラブ又はその連合体が行う地域の防災活動に必要な施設又は設備の整備に関する事業費 【施設・設備の例】 無線機、ポンプ、防火水槽、消火器、防水シート、AED、救急箱、テント、担架、毛布、簡易ベッド、給水タンク、簡易トイレ等	30万円～200万円
青少年健全育成助成 事業	主として小・中学生が参加するスポーツ・レクリエーション活動、文化・学習活動、その他コミュニティ活動のイベント等に要する経費	30万円～100万円

●平成28年度実施事業の紹介（コミュニティセンター助成事業）



完成した由良宿1区自治公民館

自治公民館完成
由良宿1区

由良宿1区の自治公民館がこの度完成しました。
建設費の一部は、宝くじの収益金を元に実施されるコミュニティ助成事業の助成を活用されています。

高齢者や車椅子の方でも利用しやすいように多目的トイレや車椅子スロープが設置され、全館バリアフリーとなっています。

この公民館を中心に、由良宿1区の自治会活動のさらなる活性化が期待されます。